

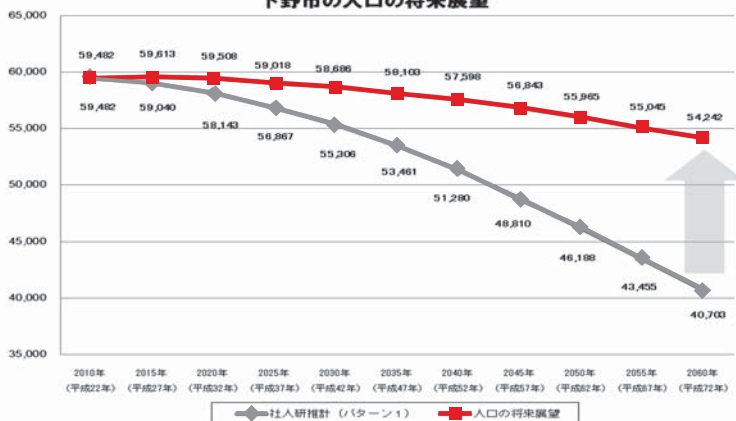
「下野市人口ビジョン」及び「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました

本市の人口は、合併以来増加傾向でありましたが、近年は自然減や社会減が見受けられ、将来の人口推計によると、今後は少子高齢化が進み人口減少に転じるものと予想されています。

本市においても「人口減少」は、今後直面する大きな課題であり、人口問題に関する市民の認識の共有を図るとともに、その克服に向け、一層活力ある地域社会を創生していくための取組を推進する必要があります。

市では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、本市の人口の現状と将来展望を提示する「下野市人口ビジョン」と、今後5か年の目標や基本的方向、具体的な施策をまとめた「下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しましたので、概要についてお知らせします。

下野市の人口の将来展望



■人口の将来推計及び人口の将来展望

国立社会保障・人口問題研究所データに基づく人口推計によると、本市の人口は2060年40,703人(2010年国勢調査時人口:59,483人)、年齢3区分別における老年人口の割合は37.9%(2010年国勢調査時割合:19.1%)と予想されます。

しかし、本市は、自然環境・交通環境・居住環境・医療

環境の充実に加え、多様な豊かな地域資源を有するなどポテンシャルも高いことから、本市の目指すべき将来の方向を定め、そのための4つの基本目標を設定し、人口減少克服、地方創生、地域活性化に向けた施策・事業を展開することにより、人口の将来展望として、2060年の人口を54,242人(現在の約9%減)、老年人口比率を29.6%と推計しています。

■本市の目指すべき将来の方向

○「市民の幸福度の向上」

本市の恵まれた医療環境、自然環境、居住環境、交通の利便性等の強みを活かし、「下野市に住んでいて幸せ」であると思える施策・事業により、定住促進、出生率向上を目指します。

○「人や企業に選ばれる自治体」

多彩で豊富な地域資源を活かし、地域の魅力向上と雇用の拡大につなげ、「人や企業に選ばれる」施策・事業の展開により、本市への定住を促進する新たな人の流れを創出します。

■4つの基本目標

基本目標① 魅力的で安定した雇用を創出する

産業振興計画に基づく新たな産業の誘致・育成、新規就農者への支援等若年世代の定住を促進することにより、生産年齢人口の維持を図ります。

(ア) 商工業による躍進するまちづくり

(イ) 地域の特性を活かした農業・農村づくり

基本目標② 東京圏からの新しいひとの流れをつくる

土地利用の推進、居住環境の整備、市の魅力を積極的に発信するシティプロモーションの推進等により、転入者の増加、観光入込客数の増加を図ります。

(ア) 快適に住み続けられる住環境、緑環境、交通環境、水環境づくり

(イ) 魅力あふれる観光まちづくり

(ウ) 交流の促進とシティプロモーションの推進

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援等により、

合計特殊出生率の向上、本市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合の増加を図ります。

基本目標④ 安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる

市民が「下野市に住んでいて幸せ」であると思える施策・事業の展開により、人が人を呼ぶ好循環が生まれるものと考え、人口減少克服の大きな取組の一つとして、「市民の幸福度の向上」を位置付け、保健福祉の充実、教育文化の振興、安全・安心に暮らせる生活環境の向上を図るとともに、市民自らがまちの活力を創出していく市民協働の取組を推進します。

◎詳細については、市ホームページををご覧ください。検索方法は、「下野市ホームページ」↓「組織から探す」↓「総合政策課」↓「地方創生」↓「下野市人口ビジョン及び下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました」

■問い合わせ先

総合政策課

☎(40)55550